



# 令和8年 宜野湾市 二十歳のつどい —未来へ踏み出す、二十歳の節目—

1月11日(日)、晴れやかな空のもと、宜野湾市民会館において、今年度二十歳を迎える皆さんの節目を祝う式典「令和8年 宜野湾市二十歳のつどい」が開催されました。今年度の対象者は、平成17年4月2日から平成18年4月1日生まれの1,038人です。

会場には、お揃いのスーツや彩り豊かな着物に身を包んだ参加者で大いに賑わいを見せ、節目を迎えた喜びを分かち合いました。

式典の開幕では、真志喜中学校軽音楽部による演奏が披露され、二十歳を迎える先輩たちへエールが送られました。

また、佐喜眞淳市長は、「仲間を信じ、家族をはじめこれまで支えてきた周囲の方々への感謝の気持ちを忘れず、それぞれの人生を力強く歩んでいくことを期待しています」と激励の言葉を述べました。



市ホームページからもご確認いただけます▼



## 代表あいさつ

大きな壁にぶつかり、何もかもが嫌になることもあると思います。そんな時こそ、やりたいことをやるべきだとは思いますが。乗り越えることも振り返ることも、これからの人生への経験値になるからです。



かわみつ 玲寧  
川満 玲寧

これまで支えてくださった多くの方々のおかげで、この日を迎えることが出来ました。感謝 挑戦 柔軟性 仲間 未来、そして責任。これらを胸に刻み、社会の一員として責任ある行動を心掛けていきます。



いずみかわ ひろあ  
泉川 寛愛

二十歳を迎えることは何かを達成したということではなく、自分自身の未熟さと向き合い、これからどのように生きていくのかを問われる出発点だと思っています。自分の頭で考え、自分の言葉で語り、自分の選択に責任を持つ大人でありたいと思います。



さいとう ひろと  
齋藤 博斗

二十歳を迎えた私たちは、大人としての責任を少しずつ担いながらも自分はどうな未来を行きたいのか、何を大切にしたいのかを考え続けることが出来る世代です。選んだ道に責任を持ち、失敗を恐れず、一歩ずつ前へ進んでいきたいと思っています。



きんじょう さな  
金城 咲南